

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
公衆衛生学各論Ⅱ		瀬戸川 良之	講義	2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	調理師免許必修			
学習目標	わが国の疾病予防や治療対策、健康づくり対策について理解を深める。また、環境は個人の健康に大きな影響を与え、自然のものから人為的なものまで、直接的、間接的にプラスにもマイナスにも作用することから、人間を取り巻く環境条件や環境汚染、環境問題とその取り組み方について学習する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	健康づくり対策	疾病予防の段階、健康増進			
2	わが国における健康作り対策策	国民の健康・体力増強、健康フロンティア戦略			
3	健康日本 21	栄養・食生活、身体活動・運動、休養など9分野について			
4	健康教育	健康教育の目的、健康教育方法			
5	環境保健とは	生活環境の衛生 現代の生活環境、環境因子			
6	環境条件（1）	大気の組成 気圧、温度、気候			
7	環境条件（2）	水の重要性 上水道、下水道施設			
8	衣服・住居・ごみ	換気、採光、照明			
9	衛生害虫の防除、電離放射線	一般産業廃棄物、衛生害虫と疾病、電離・非電離放射線			
10	環境汚染、広がる環境汚染	公害とは、わが国の公害の歴史、空気汚染による公害			
11	水質汚染による公害	水質汚染の現状、水質基準、安全な水の確保について			
12	騒音、振動、悪臭	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、環境規準			
13	環境問題とその取り組み	環境ホルモン、地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊			
14	循環型社会の形成	容器包装・家電・食品リサイクル法、グリーン購入法			
15	技術考査模擬テスト	公衆衛生学 150 問			
参 考 書	「国民生活の動向」（財）厚生統計協会 2009 緒方正名 編著「基礎 衛生・公衆衛生学」朝倉書店 2006 調理師養成教育全書 必修編 3 公衆衛生学 2010				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	予習・復習を必ず行うこと。 プリントを活用しノートの整理を行うこと。				
評価の方法と時期	定期試験における記述試験、受講態度、出席状況によって総合的に評価する。				